

## 平成24年度「市長への手紙」ご意見・ご提案

ご意見・ご提案（主旨）	回答（主旨）
<p>・趣味で折り紙や小物をつくっている。市役所で商品化できないか。</p>	<p>・基本的にご本人で商品化及び販売ルートなどを探していただくこととなります。市としては、その商品が市を代表する特産品（例えば、赤ピーマンや若潮牛など）の場合、その団体に支援する場合がありますが、商品開発をするのは、ご本人またはその団体となります。</p>
<p>・八日市場駅を橋上駅にできないか。</p>	<p>・事業者であるJRの判断になりますが、駅の利用実態によります。</p>
<p>・小学校などでは集団登校をしているが歩道やガードレールのない区間があり、道幅も狭く不安です。設置や工事は時間とお金がかかるので、登下校時に警察で取り締まりなど街頭活動を強化して欲しい。</p>	<p>・登下校時の取り締まりの強化については、匝瑳警察署にご意見としてお伝えします。 警察以外の交通安全活動については、匝瑳市交通安全協会により登下校の見守りを各地区支部で決められた日に実施しております。また市では、歩行者や運転手などへの注意喚起を図る看板、スクールゾーン標示などの設置も行っており、今後も交通事故防止に努めてまいります。</p>
<p>・道路工事についてお願いしたい。</p>	<p>・ご要望の場所は、現地を確認しております。その他の地区の要望と調整させていただき、順次整備を進めております。</p>
<p>・津波避難マップが回覧されてきた。避難路が印されているがもっと増やした方がよいのではないかと。南北に延びる農道を地区別に指定すれば非常時に分散され、スムーズに避難ができると思う。</p>	<p>・避難路（避難経路）については、「匝瑳市津波避難計画」の中で、安全性や機能が確保されている道路を基準として指定しています。安全性として、避難者数などを考慮して十分な幅員が確保されていること、迂回路を確保できること、建物などの倒壊や落下物等の危険が少ないことなどがあります。機能の目安として、夜間の避難を考慮して、防犯灯が設置されていることや避難誘導標識が設置されていることなどがあります。いただいたご意見は、「匝瑳市津波避難計画」の見直しの中で参考とさせていただきます。</p>
<p>・防災無線子局がなくなり、外で作業しているときまったく聞こえない。家の中にあるが今年の震災のようなことがあれば困るので、設置を検討して欲しい。</p>	<p>・防災無線屋外拡声子局は現在、市内30か所に設置しており、避難所に指定している小中学校には18か所、海岸線（津波対策）が12か所となっています。本年度に県道飯岡一宮線と県道飯岡片貝線の間、屋外拡声子局を10基を増設する予定です。</p>
<p>・野手浜に住んでいますが、津波が来たらどこへ行けばいいですか。 電柱に海拔表示などは行わないのですか。 防波堤はできないのですか。</p>	<p>・避難所は、野田小学校または野栄中学校となります。 また、電柱への海拔表示を本年度実施いたします。 防波堤については、今後も継続して、千葉県に要望してまいります。</p>

## 平成24年度「市長への手紙」ご意見・ご提案

ご意見・ご提案（主旨）	回答（主旨）
<p>・市役所、学校に、太陽光、風車を設置してほしい。 天ぷら油などの再利用でバスの燃料にしてほしい。 水素エンジンの公用車を導入してほしい。 小学校でリサイクルなどを教育してほしい。</p>	<p>・太陽光などについては、設置コストのほか多くの課題があるため、設置予定はしていませんが、新築した八日市場小学校体育館にすでに設置しております。また、野栄中学校、豊栄小学校にも設置予定です。 バイオディーゼル燃料の活用については、今後、課題であると認識しております。 水素燃料自動車は、車両が高額であること、燃料の供給課題から購入は考えておりません。 リサイクルなど環境についての学習は、小学4年が教科書及び市が作成する副読本を活用して学習しております。また、学校独自に総合の時間を利用して環境学習をテーマにリサイクルなどに取り組んでいる学校もあります。</p>
<p>・野焼きをどうにかやめさせてほしい。住民からの通報システムや違反者への罰則規定など明確にし、徹底的に排除できるようにしてほしい。</p>	<p>・野焼きは法律により原則禁止となっています。野焼きによる苦情は多く寄せられている状況であり、市の広報紙による周知の他、消防署・警察署と連携して行為者に対し、直接指導等対応をしているところです。野焼きを発見した場合は、市役所までご連絡くださるようお願いいたします。</p>
<p>・民間企業でも、経費削減で対応できなければ人件費を削減する。議員数、職員数をどう考えているのか。</p>	<p>・議員数については、平成22年3月に4人削減しており、適正数と考えます。 職員数は、合併時から平成24年4月までの6年間で68人削減してまいりました。今後も職員数の適正化に取り組みます。</p>
<p>・小学生や未就学児童の講座を開いてほしい（習字、パソコン、スポーツなど）。</p>	<p>・スポーツ教室は実施していますが、学習講座は開催しておりません。その理由として、パソコン教室などの場合、児童（高学年から未就学児）では、指導者1名での個別対応ができないことなどが上げられます。未就学児童や小学生のみで参加できる学習講座は今後の検討課題とさせていただきます。</p>
<p>・道路工事に伴う歩道の取り付け位置を変えてほしい。</p>	<p>・歩道の取り付け位置は、事業計画の変更となるため、庁内協議の他、関係機関との協議が必要となります。今後、関係機関との協議をしてまいります。</p>
<p>・駅南道路はいつ完成するのか。また、駅南の広場は使えるのか。 ウォーキングをする人が増えている。安全なコースを地区ごとにつくれないか。</p>	<p>・駅南道路は、一部用地が未買収であるため、暫定での供用を行っております。早期完成に努めます。 また、駅南の広場は、千葉県警交通規制課との協議からタクシー専用となっています。 野栄ふれあい公園にウォーキングロードが設置されていることから、安全にご利用できます。また、各地区のウォーキングコースの設置については、今後検討させていただきます。</p>

## 平成24年度「市長への手紙」ご意見・ご提案

ご意見・ご提案（主旨）	回答（主旨）
<p>・圏央道のインターチェンジやパーキングはどこになるのか。また、市からのアクセスはどうなるのか。                  総武本線の深夜帯の時間に増発してほしい。始発電車を八日市場駅からにしてほしい。</p>	<p>・圏央道のインターチェンジは多古町に計画されています。また、圏央道は各高速道路を結ぶ接続道路であるため、パーキングエリアは建設されないとのことです。なお、圏央道の開通後は当市及び近隣地域での利便性が向上すると思われます。                  最終電車の繰り下げなど、JRに対する要望活動については、千葉県JR複線化等促進期成同盟を通じ行っており、市単独でも、JR東日本(株)千葉支社に出向き要望活動を行っております。                  待機施設を持たない八日市場駅を始発駅にすることは難しい状況であります。</p>
<p>・道路への植木の枝などの障害物の張り出しをどうにかしてほしい。水の溜まる場所もいつも同じです。受付してくれる場所があればいいと思います。</p>	<p>・市役所建設課にご連絡ください。植木の枝などの場合、その所有者に連絡し、伐採等の依頼を行っています。また、定期的に広報紙で伐採や枝払いについてご協力をお願いしているところであります。                  道路の破損などについても建設課にご連絡いただければ対応してまいります。</p>